

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600158
事業所名	グループホームあいか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域とホームとが相互に交流し、友好的な関係を深めている。地域の集い場で開かれる「ふれあい喫茶」には、毎月利用者4～5名が参加する。「御前場夏祭り」にも地域から誘いがあったが、台風の影響で今回は参加を見合わせた。「あいか夏祭り」には、着付けボランティアや太鼓演奏のボランティアが祭りを盛り上げてくれる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に1度の運営推進会議には、行政担当者、地域代表、知見者、家族のほか、利用者也参加することがある。ホームからの定例の報告の後、地域の行事やホームの行事について、会議参加者による活発な意見交換がある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政担当者として地域包括支援センター（いきいき支援センター）の職員が、運営推進会議に参加している。ホーム運営に関する様々な助言やアドバイスをもらっており、担当者の都合がつかずに会議に欠席した時には、参加者から「専門職として、参加がなくても大丈夫なのか？」と、毎回の参加を望む声があった。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 法人主導で「家族アンケート」を実施しており、意見・要望はホームに伝わっている。改善が必要な場合は、即座に対応策を検討し、実行に移している。「あいか喫茶」には家族が多数参加したことから、今後は地域にも輪を広げる構想が出てきた。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○	◎	○	◎	